

# 2023 年度「感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座」 講義概要

◎前期

第1日 2023年10月14日(土)

第1時限 (13:35～15:00)

『COVID-19 の最新情報』

講師：国立国際医療研究センター 大曲貴夫

講義概要：大曲先生からのメッセージ

COVID-19 に対する臨床的な知見はかなり揃い、治療も確立してきました。受け入れのための医療体制も疾患の特質に合わせて整備が進んでいます。いよいよポストコロナのために医療と社会のあり方をどう変えていくかを議論し実行していく時期に来ています。

COVID-19 のこれまでを振り返りつつ、今後の対応について皆様と一緒に考えたいと思います。

第2時限 (15:15～16:40)

『ファシリティマネジメント』

講師：工学院大学 笈淳夫

講義概要：笈先生からのメッセージ

医療施設内における感染対策を考える上で、施設環境の側面から検討することは重要なテーマの一つです。そのためには施設や設備に対する理解を深めておく必要がありますが、医療関係者においては、それらに対する知識が不足していることがまま見受けられます。この講義では、空調設備・給排水衛生設備などの概説から始まり、現状の感染症病床の施設基準に関する課題なども含めて、感染対策におけるファシリティマネジメントの概論をお話しします。

第3時限 (16:55～18:20)

『臨床微生物学』

講師：大阪大学医学部附属病院 山本剛

講義概要：山本先生からのメッセージ

微生物のうち、ヒトに対する病原性を有する微生物について学ぶ学問が臨床微生物学であり、細菌や真菌、ウイルスが対象となる機会が多い。診断・治療に関連した微生物に対する考え方に加えて、感染管理に関連したものまで幅広い知識が必要になるは範囲が広すぎて、どこに焦点を当てて感染対策を考えていくのか解釈が難しいことはないだろうか。今回は、感染症や感染管理に重要とされている微生物に焦点をあてて解説していく。

第2日 2023年10月15日(日)

第1時限 (9:00~11:40)

『手指衛生セッション』

講師：国立感染症研究所 鈴木里和

兵庫医科大学病院 石川かおり

聖マリアンナ医大横浜市西部病院 斎藤浩輝

講義概要：鈴木先生からのメッセージ

手指衛生は感染対策の基本中の基本・・・なのにみんな興味を持ってくれない、協力してくれないと、絶望していませんか？諦めてしまう前に、感染管理の「専門家」として何に取り組むべきかももう一度考えてみましょう。最新の情報にアップデートできていますか？手指衛生のサーベイランスは最適化していますか？手荒れ対策は考えていますか？教科書的な知識のおさらいと、実際の医療現場での取り組みについての講義のあと、明日から取り組むべき課題について議論しましょう。

第2時限 (12:25~13:20)

『サーベイランス①-1 UTI』

講師：久留米大学 崎浜智子

講義概要：崎浜先生からのメッセージ

ケアバンドルの導入により、CAUTIの多く(約70%)が予防可能とされている。本講義では、CAUTI ケアバンドルの遵守率(プロセス)を向上させることで、CAUTI(患者アウトカム)の低減を目指す、①挿入時、②留置中、③抜去後、④再挿入の4サイクルで構成される『尿道カテーテルライフサイクル概念モデル (Meddings J and Saint S 2011)』に準拠した、CAUTIサーベイランスのあり方と改善戦略を解説いたします。

第3時限 (14:35~16:00)

『サーベイランス①-2 透析関連感染』

講師：福井県済生会病院 細田清美

講義概要：細田先生からのメッセージ

慢性透析療法を受けている患者総数は34万人を超えており、全国で4500以上の施設で慢性透析療法が実施されています。患者数の多寡により透析関連感染サーベイランスの導入や実践は異なりますが、透析関連サーベイランスの手法とサーベイランスデータを活用した改善活動について解説します。

第4時限 (14:35~16:00)

『COVID-19 から学んだ感染管理』

講師：聖路加国際病院 坂本史衣

講義概要：坂本先生からのメッセージ

2020年以来続いている新興感染症のパンデミックは、私たち感染管理に従事する者にとって、苦しいながらも貴重な学びの機会となっています。日常的な感染管理体制をどう構築また運営すればよいのか、新たなパンデミックにどう備えればよいのか、COVID-19対応から得た学びをもとに考えてみたいと思います。

◎後期

第1日 2024年2月17日(土)

第1時限 (13:35~15:00)

『感染症学』

講師：亀田総合病院 細川直登

講義概要：細川先生からのメッセージ

感染症学とは、皮膚の表面から中枢神経の中まで、体のあらゆる部位を対象とした、ウイルスから寄生虫まで様々な生物が起こす疾患を扱う学問です。幅広い分野の学問ですが、大丈夫、シンプルなロジックを身につければ多くのことを理解し対応できます。今回の講義では感染症とは何か？という本質的なポイントを理解し、どんな感染症にも対応できるロジックを皆さんと共有したいと思います。

第2時限 (15:15~16:40)

『抗菌薬の適正使用』

講師：東京大学医学部附属病院 岡本耕

講義概要：岡本先生からのメッセージ

抗菌薬適正使用は、耐性菌による感染症を減らすための重要な戦略の一つで、感染管理とは相補的に機能するものと考えられています。AST(Antimicrobial stewardship team)も ICT (Infection control team) も多職種によるチームで最前線の医療従事者に働きかけていくという点では、共通する部分は多く、抗菌薬適正使用における看護師の役割についても関心が高まっています。講義では、抗菌薬適正使用の基本的な部分をおさらいしつつ、看護師の役割を含む最近のトピックに触れながら、皆さんと一緒に抗菌薬適正使用についての理解(とモチベーション)を高められたらと思います。

第3時限 (16:55~18:20)

『在宅・施設の感染対策』

講師：沖縄県立中部病院 高山義浩

訪問看護ステーションレジハピ 篠原久恵

まろにえ介護老人保健施設 前永和枝

講義概要：

新型コロナによるパンデミックの経験から、在宅や施設を含む地域の感染対策の重要性が浮き彫りになりました。

このセッションでは、地域医療の最先端におられる高山義浩先生と、訪問看護と老人施設の現場で活躍している感染管理認定看護師からそれぞれの場の感染対策の実情や課題を提起していただき、そのあと、今後目指すべき目標などについてディスカッションしていただきます。

(HAICS 研究会 事務局)

第2日 2024年2月18日(日)

第1時限 (9:00~12:00)

『サーベイランス②(疫学・統計学)』 講師：国立看護大学校 西岡みどり

講義概要：西岡先生からのメッセージ

皆様は感染管理活動により、患者や医療者を感染から守り、多大な貢献をされています。その成果を「見える形」にするデータ解析について、対策効果だけでなく費用効果の検討も含め、なるべく簡便な手法を厳選してご紹介します。さらに、自施設対策に最新エビデンスを取り入れる際のお役に立つよう、結果の図表の読み方や、英論文をスピーディに読むコツ等をご紹介します。

第2時限 (12:50~14:15)

『リスクヘッジのコミュニケーション技術』 講師：東京工芸大学 大島武

講義概要：大島先生からのメッセージ

COVID-19 の感染拡大を一つの契機として、私たちのコミュニケーションスタイルも随分と変わりました。会議や研究会などでオンライン開催を継続している職場も少なくないことと思います。ただ、オンラインのコミュニケーションでは、お互いに空気感を共有できないぶん、誤解を生みやすいという側面もあります。こうしたリスクを考え、自分の言いたいことを正確に、感じよく伝えるにはどうしたらよいか、理論と実践の両面から考えていきます。

第3時限 (14:30~15:55)

『感染制御をめぐるトピックス』 講師：山形大学医学部附属病院 森兼啓太

講義概要：森兼先生からのメッセージ

COVID-19 の流行から我々は様々なことを学びました。その一方で、それ以外の疾患の感染制御がおろそかになった面もあったかと思えます。COVID-19 の流行はダラダラと続きそうな雰囲気ですが、世界の多くの国はこれを受け入れて次のステップへ進もうとしています。ここ1年の海外の学会の様子や COVID-19 以外の感染制御の最新情報を本講演でお伝えします。